



営農ウィークリーNEWS

大原野地域技術講習会開催



▲農薬の基本と使用方法について

8月6日（火）大原野支店にて栽培技術の向上を目的として、農薬・肥料技術講習会が開催されました。大原野壮年部を中心とした生産者に加え、京都市南部農業振興センター洛西分室も参加し、多くの出席者となりました。

経済部職員3名が講師として参加し、農薬の使用方法や有機入り肥料の紹介を行った他、高温耐性米「にこまる」の紹介とイネカメムシの被害状況と対策について講習を行いました。



▲有機入り肥料と緑肥の紹介



▲高温耐性米「にこまる」の紹介・イネカメムシの発生状況の報告



▲竹林の虫害状況報告

—TAC information—

静電噴口散布試験実施



静電噴口は静電気的原理を応用し、薬液を帯電させることで、散布した薬液を効率的に作物に付着させます。帯電噴霧により通常では届きにくい葉裏などへの薬液付着率が向上し、農薬使用量削減が期待できます。薬液を作物に確実に付着させ、病害虫の発生頻度を抑えるので散布回数の低減が見込めます。

8月上旬、京おくら圃場にて静電噴口の散布試験を実施し、流用量等の調査を行いました。



「オオタバコガ」の多発生に注意してください！

オオタバコガは、幼虫が果実や花蕾、結球の内部に食入し大きな被害を及ぼします。

成虫は体長15～20mm程度、終齢幼虫は体長35～40mmで体色は淡緑色、緑褐色、黄褐色など個体変異幅が大きく、年に数回発生します。

食害する植物の範囲が広く、産卵数が多くて増殖能力が高いことと薬剤抵抗性が着きやすいことから難防除害虫として問題となっています。

最近、管内茄子圃場では、オオタバコガの発生が増加傾向にあります。被害を確認したら直ちに防除するようお願いいたします。



幼虫の期間は、約10日間

その間、花蕾や果実に食入し甚大な被害を及ぼします！



その後、
約12日間の蛹の
期間を経て
成虫へ…

登録農薬・フェニックス顆粒水溶剤・プレバソフフロアブル5・ディアナSC・

アニキ乳剤・アフーム乳剤・プレオフロアブル・トルネードエースDF等々…

注意！ご使用前には、ラベルにて登録内容の確認をお願いいたします。